



農業支援センター試験調査結果より



1 ブロッコリー地域品種特性調査の取り組みについて（続報）

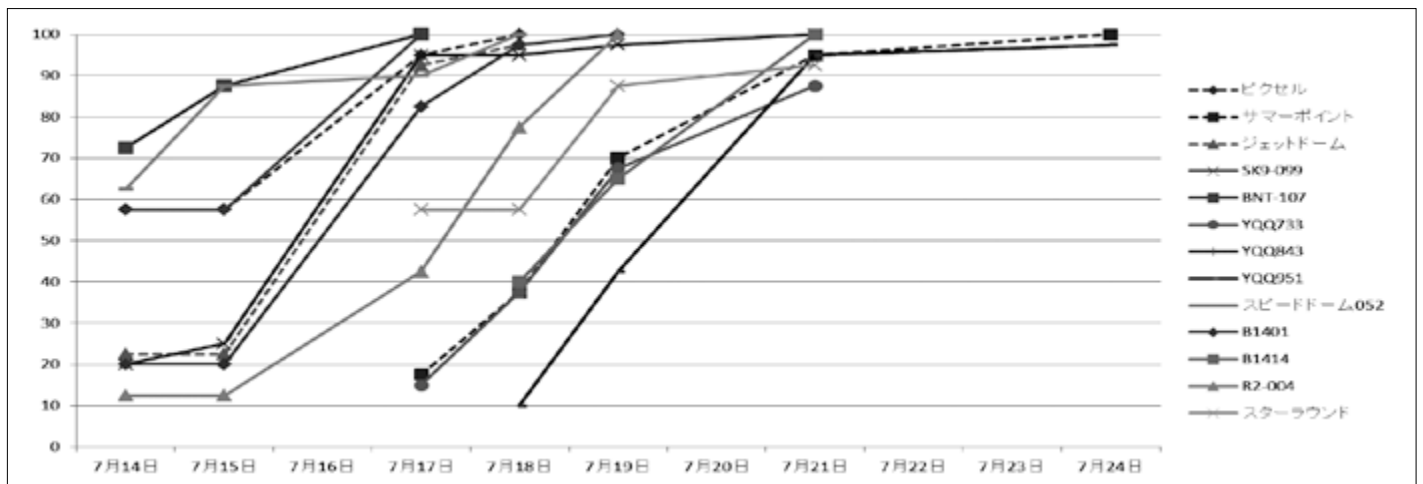
前回秋号でお知らせしていたこの調査の当センターにおける今年の結果を取りまとめましたので、概要についてお知らせします。

今年度は春播き（4月27日播種、7月中旬収穫）と初夏播き（7月4日播種、9月下旬収穫）の二作期の調査をしました。

【調査対象品種】

- ・標準品種：①「ピクセル」（サカタのタネ）、共同調査品種：②「サマーポイント」（住化農業資材）、③「ジェットドーム」（みかど協和）、検定品種・系統：④「SK9-099」（サカタのタネ）、⑤「BNT-107」（ナント種苗）、⑥「YQQ733」⑦「YQQ843」⑧「YQQ951」（住化農業資材）、⑨「スピードドーム052」⑩「B1401」⑪「B1414」（みかど協和）、⑫「R2-004」（トキタ種苗）、⑬「スターラウンド」（ホクレン）
- このほか、初夏播きではセンター独自に2品種を加えて調査しました。

【春播き作型】 品種別の100%収穫までの日数グラフ



- ・標準品種のピクセルはM・L規格中心で揃いが良いものの、花蕾色が淡くキャッツアイも見られたことから、品質は良くありませんでした。
- ・SK9-099は、しまりが若干悪かったが、花蕾色が良く茎空洞も軽微で、かつL・2L規格中心で収量性は良かったので、相対評価はピクセルより良かったです。
- ・花蕾腐敗病が多発したYQQ733、花蕾色が薄いR2-004、揃いが悪く茎空洞も多いYQQ951はこの時期は不適と考えられました。

【初夏播き作型】 品種別の100%収穫までの日数グラフ

